

## 令和4年度 事業報告

### 1. 【社会福祉法人やちぐさ会全体】

#### ■施設整備関連

##### ・令和4年5月 AED（自動体外式除細動器）電極パッドを更新

突然の心停止から命を救うため、痙攣を起こした心臓に電気ショックを与える装置（AED）が多機能型事業所やちぐさの内玄関に設置されています。自主点検により、電極パッドの使用期限が迎えることから電極パッドの更新をおこないました。やちぐさのみならず地域の方で万が一、心停止が起こった場合すぐに貸出しができるよう対応しています。（平日営業時間内）

##### ・5月 厨房機器 冷凍冷蔵庫の更新

老朽化による冷凍庫の故障により、同サイズ・同仕様の冷凍冷蔵庫を購入しました。（購入金額は276,000円）

##### ・7月 マイクロバス（日野リエッセⅡ・ささゆり号）

###### 板金塗装修理をおこなう

運転席側の乗車ステップの腐食が酷く安全な乗降に支障があるため、ステップパネルの交換および板金塗装をおこない修理しました。（修理金額：323,125円）

##### ・8月4日に発生した大雨による被害報告

###### ○被害の概要

8月4日、12時50分ごろ 大雨により、事務所横にある山側法面の一部（幅2m）が土砂崩れした。所内に土砂が流入したため、直ちに利用者の安全を確保し、利用者の点呼を実施しました。被害の報告は電話にて浅田所長から障害福祉課へおこない復旧作業は雨が止んで安全を確認してから行うようアドバイスを受けました。この度の土砂災害では、利用者の人的被害・建物被害等はありませんでした。

###### ○被害の写真



### ○復旧作業



大雨が止んだ 8 月 4 日午後 3 時より復旧工事をおこない、敷地内に流入した土砂を日本郵便の助成を受けて導入したユンボを活用し土砂の撤去をおこないました。車の通行や歩行が安全にできるようになりました。

### ○復旧後写真



### ○復旧後の再発防止対策

山側の法面が崩れないよう安全対策を講じるため、法面の植栽撤去と崩落の危険がある箇所土砂を撤去するための工事を進めました。

### ○完全復旧後の写真（再発防止対策済）令和 4 年 9 月上旬



8 月 4 日の土砂災害から約 1 か月かけて、山側の法面が崩れないよう安全対策を講じました。法面の植栽撤去と崩落の危険がある箇所土砂を撤去する工事をおこないました。土砂災害により壊れたブロック塀の撤去およびやり直しの工事も完了しました。法面の角度が以前よりも緩やかになり、安心感が増しました。

- ・ 1 1 月 塗装工事完了 経年のためサビや塗装剥がれ等が目立ってきた塗装  
工事を実施しました。

やちぐさホーム

避難用階段 (塗装工事費 117,480 円)

2 社見積 田中塗装に決定

多機能型事業所やちぐさ

菓子工房(避難用階段)および本館(玄関の丸柱)

(塗装工事費 92,400 円)

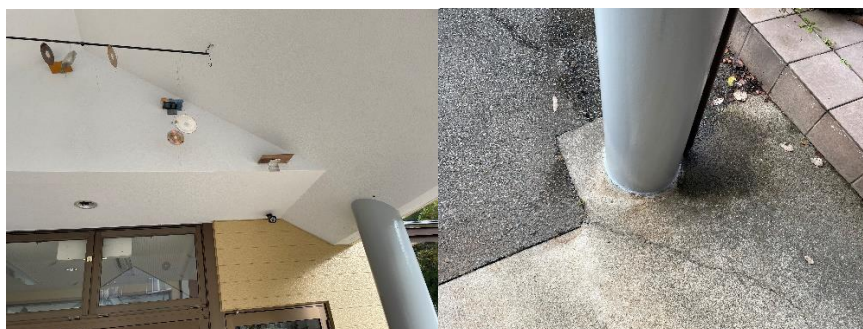
本館(正面ポーチ天井)

(塗装工事費 98,450 円)



▲やちぐさホーム・避難用階段

▲菓子工房・避難用階段



▲玄関ポーチ・天井

▲玄関・丸柱

・ 1 2 月 第 2 作業室（生活介護）男性用洋式トイレ増設



男性用洋式トイレが増設されたので、これまでのように1階にある男性トイレへ行く必要はなくなりました。トイレが増設され、お食事以外は第2作業室で完結できるようになりました。

2社見積で、株式会社ハザマ住建に決定

工事費 676,500円

・ 1 月 27 日 神宮寺グループホーム・最強寒波による影響でスプリンクラータンクの給水管が破裂する



金沢市企業局へ水道料金の減免申請をおこない、修理は中央電設に依頼し、従来品よりも保温性が高く厚みのある保温材で給水管をカバーする。（修理代は44,000円）

・ 2 月 8 日付 令和4年度

石川県障害者施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金申請

やちぐさ会では、石川県の省エネ補助金の活用を検討した結果、多機能型事業所やちぐさ（就労継続支援B型・生活介護）にそれぞれ太陽光発電システム

(4.14kw)を設置する計画で補助金申請をおこないました。

補助金交付申請にあたり、石川県の手続きに準じて3社見積をとり、業者を選定  
石友リフォームサービス株式会社に決定する。(交付決定後、契約予定)

菓子工房(就労継続支援B型)

① 太陽光発電システム4.14kw・・・工事費1,100,000円

導入効果・・・自家消費で約16.7万円節約見込み

生活介護

② 太陽光発電システム4.14kw・・・工事費1,100,000円

導入効果・・・自家消費で約16.7万円節約見込み

事業費総額 2,200,000円

交付申請額 994,000円

## ・2月17日付 令和4年度石川県障害者施設等省エネ投資緊急支援事業費補助 金の交付決定を受ける

・補助事業に要する経費 2,200,000円

・補助金の交付決定額 994,000円

※太陽光発電システム2台の設置工事にかかるやちぐさ会の自己負担  
額は、1,206,000円となりました。

### ■施設事業所運営

#### ・利用者の入退所について

今年度、新入所の方がいなかったため入所式は行われませんでした。4年度は多機能型  
事業所やちぐさ・就労継続支援B型「やちぐさ作業所」現員25名、生活介護「あじさ  
い」現員18名、現員計43名でスタートしました。

令和4年6月9日、小西千里さんが本人のご都合により生活介護「あじさい」・共同生  
活援助「やちぐさホーム」を退所されました。

そのため、生活介護「あじさい」の現員は17名・共同生活援助「やちぐさホーム」の現  
員は3名となりました。令和4年7月1日、中馬弥生さんが共同生活援助「やちぐさホー  
ム」に入所され現員が4名となりました。令和4年10月31日、宮鍋仁さんが本人のご都  
合により生活介護「あじさい」を退職され減員は16名となりました。

## ・職員の採用・退職状況

令和4年4月1日には多機能型事業所やちぐさ・生活介護「あじさい」の生活支援員として、山野 義信さんが採用されました。

令和4年7月1日には、南御所ホームのチーフ（生活支援員）として潟渕麻紀さんが採用、同日やちぐさホームの世話人兼生活支援員として中馬建二さんが採用されました。

令和4年8月31日、南御所ホーム世話人の中川千嘉さんが自己都合により退職をされました。令和4年10月31日、南御所ホーム世話人の関 美智子さん、榎谷元江さんが退職されました。

## ・新型コロナウイルスの対応取り組み

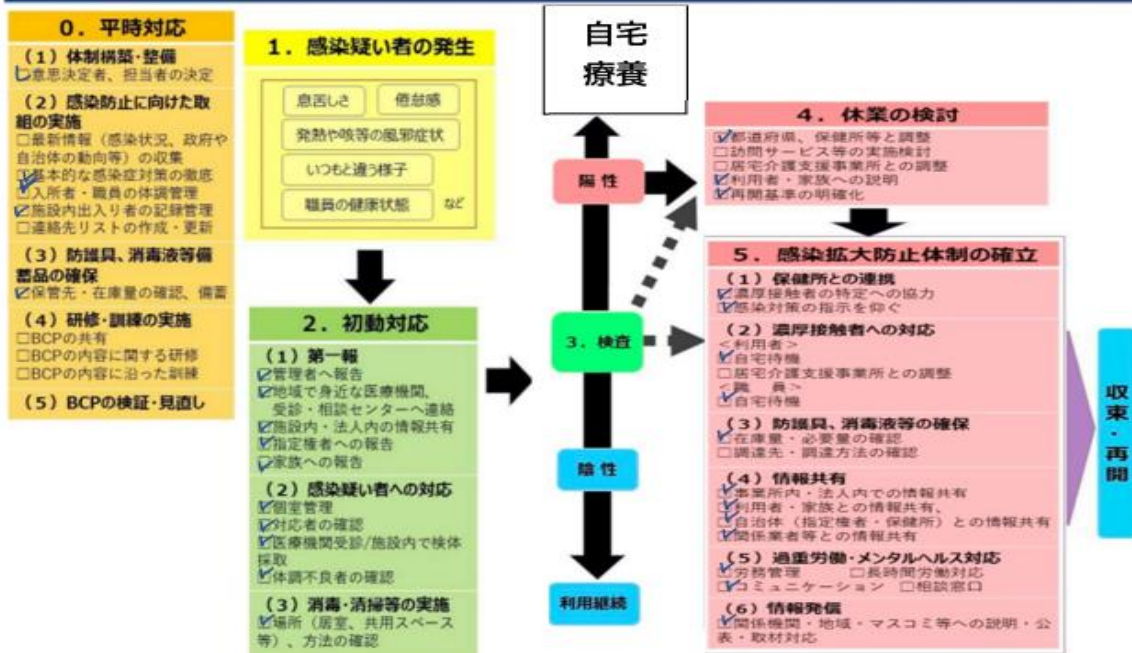
国からの事務連絡を参考にやちぐさ会全体で新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をおこないました。

- ① マスクの着用・手洗いの徹底・アルコール消毒（手指・手すりやドアノブなどの共有物）の実施
- ② 利用者の健康状態の把握と変化の有無（出勤時・日中・帰宅前）
- ③ 利用者の出勤前・作業中・帰宅前検温の記録及び職員の出勤前検温の実施と記録
- ④ 面会者および業者の来訪記録（日時・連絡先）
- ⑤ 3つの密（換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面）を避ける
  - ・全体朝礼を分散して開催しました。・エアロビクス中止
  - ・食事の密を避けるため、食事の時間帯3つに分けて作業班別に食事を摂っていただくようにしました。
  - ・作業場では空気の流れ替えのため定期的に換気をおこないました。
- ⑥ 施設による感染拡大を防止するため、石川県高齢者施設等従事者の検査事業を活用して、施設に従事する職員のPCR検査を積極的におこないました。

- ・ 5月 新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応をまとめる

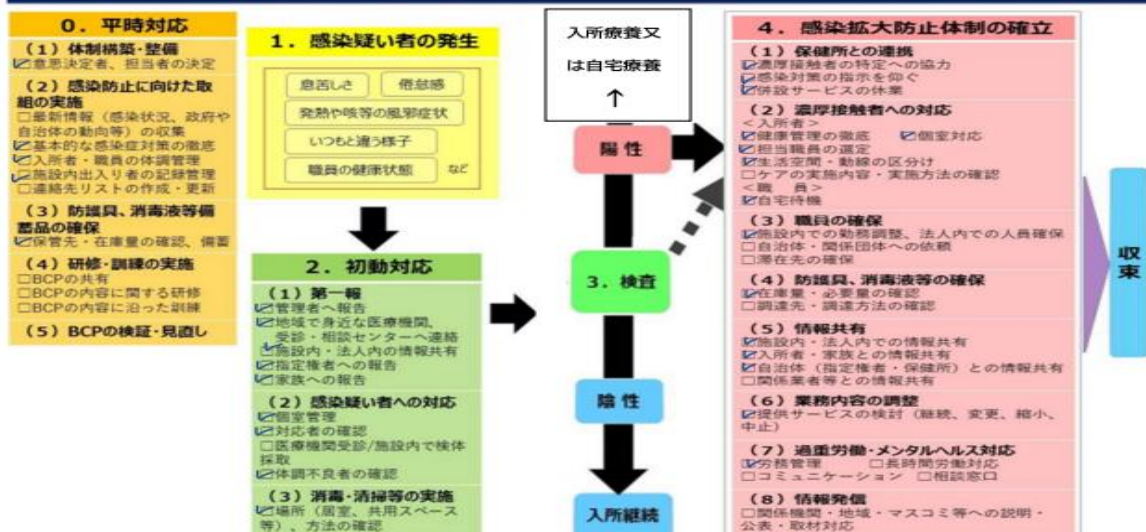
## 新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）に向けた多機能型やちぐさの対応（やちぐさ会）

### 新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（通所系）



## 新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）に向けたグループホームの対応（やちぐさ会）

### 新型コロナウイルス感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（入所系）



新型コロナウイルス感染の第7波による感染拡大に備え、コロナ感染（疑い）者発生時の対応フローチャート（通所系・入所系）をまとめました。

濃厚接触者の対応及び自宅療養者の対応については石川県より配布のしおりを参考資料として各事業所に配置しました。

## ・新型コロナウイルスの感染状況

（8月末集計：やちぐさ職員4名・利用者2名がコロナ感染）

### やちぐさ会 コロナ関係 御報告

2022年8月17日 利用者1名がコロナ陽性（第6報）

本日保護者様より連絡があり、やちぐさ作業書利用者1名コロナ陽性となりました。10日間自宅療養となります。該当利用者はお休みしていた為、濃厚接触者はいません。

2022年8月15日 11:00 職員2名がコロナ陽性（第5報）

PCR検査にてやちぐさ作業書職員1名とやちぐさホーム世話人1名がコロナ陽性となりました。該当職員は10日間自宅療養（一部在宅勤務）となります。濃厚接触者はいません。

2022年8月12日 18:00 職員1名がコロナ陽性（第4報）

PCR検査にて職員1名がコロナ陽性となりました。該当職員は10日間自宅療養（一部在宅勤務）となります。濃厚接触者はいません。

2022年8月11日 14:00グループホームにて利用者1名がコロナ陽性（第3報）

神宮寺ホームにて利用者1名のコロナ陽性が出ました。該当利用者は神宮寺ホームにて10日間療養に入ります。

2022年8月11日 10:00グループホームにて利用者1名がコロナ陽性（第2報）

やちぐさホームにて利用者1名のコロナ陽性が出ました。該当利用者は自宅にて10日間療養に入ります。

2022年8月10日 19:00 職員1名がコロナ陽性（第1報）

榊アルプ殿の定期PCR検査にて職員1名がコロナ陽性となりました。該当職員は10日間自宅療養（一部在宅勤務）となります。濃厚接触者はいません。

### ※第6報まで報告

やちぐさ会のホームページにて新型コロナの発生状況を発信する

## ・9月10日 3グループホームの利用者8名

やちぐさの送迎により、県庁19階にてワクチン接種をおこなう

## ・多機能型事業所やちぐさの給食費にかかるご本人の負担額が10月から1食300円となります。（従来より70円値上げ）

材料費の相次ぐ値上げにより給食の水準を維持することが困難な事態となりましたので、利用者・保護者に書面を交付し説明をおこないました。

## ・10月から共同生活援助・短期入所利用時の食材料費を朝食300円・昼食450円・夕食550円となります。

（食材料費の額が3グループホームと短期入所共通となりました。）



材料費の相次ぐ値上げによりこれまでの食事の水準を維持することが困難な事態となりましたので、利用者・保護者に書面を交付し説明をおこないました。

### ・10月より、焼菓子および給食の値上げをおこなう。

様々な食材の相次ぐ値上げ、円安、原油高などによって製造原価が上がってきたため、お取引先や利用者および保護者の方に丁寧にご説明させていただき、10月1日より値上げすることになりました。大手問屋については11月からの値上げ予定となりました。

○焼菓子では小売価格で金沢の焼菓子各種、税込230円が税込238円、ポン菓子税込120円が税込124円、おこし税込250円が税込254円と値上げとなりました。

○給食は相次ぐ食材の値上げのため、1食530円から600円に値上げとなりました。値上げによって、製造原価のアップに対応することができ、収益減少を食い止めることが期待できます。

### ・10月18日 小松市方面へ社会見学

小松市にあるサイエンスヒルズこまつと焼き肉食べ放題「俺の店」へ行きました。コロナ禍のため、手指消毒・マスクの着用・車内の換気等を実施するなど新型コロナウイルス感染対策を講じながら社会見学を楽しみました。

サイエンスヒルズこまつでは、科学実験の体験や最新のプラネタリウムを鑑賞し、焼き肉食べ放題では、利用者に自分が食べたい好きなものをタブレットで確認していただきお食事を楽しみました。



### ・11月 多機能型事業所やちぐさにて 新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生 クラスター発生状況のまとめ

11月12日から、利用者のコロナ陽性者1名が判明し、18日までに利用者9名のコロナ陽性が判明。その間スタッフ2名もコロナ陽性となった。利用者10名、スタッフ2名合計12名のクラスター規模となった。

11月16日から18日までの3日間、クラスター発生のため利用者に対し利用自粛のお願い

いし、やちぐさ全体の消毒をおこないました。14日より21日まで出勤した利用者に対しては全員抗原検査を実施しました。

コロナ陽性となった利用者10名のうち9名が第1作業室を利用され、お食事も作業場でしていた。感染した職員1名も利用者の食事支援をするため、第1作業室で食事をされていた。さらに感染した職員1名は聞き取りの結果、職員間の感染が疑われる。

今後の対策としては、マスクの着用・利用者職員については体調不良等があった場合にはすぐに抗原検査を実施し、感染の有無を確認していく。陽性の場合には、医療機関に受診し感染が広がらないよう隔離する。

※11月のクラスター発生による損害として、利用自粛による利用者減によって多機能型事業所やちぐさ分約200万円、利用自粛に伴うホームでの日中勤務増に係る人件費の増加で南御所・神宮寺ホーム分で約50万円合計250万円の損害となった。

**<やちぐさ会ホームページにて、コロナ発生状況を発信>**

**2022年11月18日 利用者2名がコロナ陽性(第13報)**

本日はやちぐさ作業所利用者2名がコロナ陽性となりました。

1名はグループホーム内での感染で、ホームにて7日間隔離となります。

1名はご家庭内での感染で、7日間自宅療養となります。

**2022年11月17日 職員1名がコロナ陽性(第12報)**

本日はやちぐさ作業所職員1名がコロナ陽性となりました。

該当職員は11月14日から症状があったとのことで、11月14日からの7日間自宅療養となります。

**2022年11月16日 利用者1名がコロナ陽性(第11報)**

本日はやちぐさ作業所利用者4名がコロナ陽性となりました。

該当利用者は7日間自宅療養となります。

**2022年11月15日 利用者4名がコロナ陽性(第10報)**

本日はやちぐさ作業所利用者4名がコロナ陽性となりました。

その内1名は神宮寺ホーム利用者、1名は南御所ホーム利用者です。

該当利用者は7日間自宅療養となります。ホーム利用者は各ホームにて隔離となります。

**やちぐさ作業所でコロナクラスター発生の旨を金沢市へ報告いたしました。**

**2022年11月13日 職員1名、利用者2名がコロナ陽性(第9報)**

本日はやちぐさ作業所職員1名と利用者2名がコロナ陽性となりました。

該当職員1名と利用者1名は7日間自宅療養となります。

利用者1名は入院となります。

**2022年11月12日 利用者1名がコロナ陽性(第8報)**

本日はやちぐさ作業所職員1名がコロナ陽性となりました。

該当職員は7日間自宅療養となります。

・ 11 月 28 日 菓子工房

令和 4 年度食品衛生優良施設の知事表彰を受賞 (ホテル金沢にて)



令和 4 年度 食品衛生功労者・食品衛生優良施設 表彰式 令和4年11月28日 於ホテル金沢

▲浅田所長 最前列右から 2 人目

・ 2 月 22 日付

金沢市原油価格高騰緊急対策障害福祉サービス事業所等光熱費  
補助金交付決定通知書が届く

令和 4 年 12 月 15 日付で、金沢市へ光熱費補助金の申請をおこないました。

- ・ 多機能型事業所やちぐさ (補助上限額 70,000 円) 申請額 70,000 円
- ・ 神宮寺ホーム (補助上限額 270,000 円) 申請額 270,000 円
- ・ やちぐさ短期入所事業所 (補助上限額 150,000 円) 申請額 40,000 円
- ・ 相談支援事業所やちぐさ (補助上限額 20,000 円) 申請額 20,000 円

申請合計 400,000 円

※交付決定額 400,000 円 (すでに法人へ入金済み)

資源高騰による光熱費の負担増に困っている中、金沢市の光熱費補助金のおかげで施設運営にかかる経費の軽減に大変助かりました。

・ 3 月 4 日 スタッフ会議

- ・ 次年度事業計画として、職務分掌の確認、次年度事業計画、工賃見込、利用者担当、利用者の個別対応、月予定、週予定、1日の予定、クラブ活動の内容等について協議しました。
- ・ 福祉の職場認定制度の取り組み内容の評価と検証をおこないました。

・3月15日 菓子工場の衛生検査が金沢駅西保健所により実施される

駅西保健所職員2名が来所され、菓子工場の衛生検査がおこなわれた。

- 指摘事項 特にありませんでした。その他、日報記録の備考欄に職員として取り組んでいる事を具体的に記録に残すよう助言がありました。

■その他

・9月17日 やちぐさグラウンドゴルフ場を地域に開放する。(施設開放)

天候にも恵まれ地域より総勢29名の方がUGC月例会に参加されました。変化に富んだコース設定が好評で大変喜ばれました。



・10月1日よりアルコールチェッカー導入義務化に対応

10月1日よりアルコールチェッカーを使用した飲酒の確認が義務付けられました。対象となる事業所は、安全運転管理者の選任を必要とする自動車5台以上を保有、または乗車11名以上の自動車1台以上を保有が条件となっています。

多機能型事業所やちぐさは条件を満たすため義務化対象の事業所となっています。そのため10月より車両を運転する従業員13名にアルコールチェッカーを配布し、運転前・運転後にはアルコールチェッカーを使用した飲酒の確認をしています。

- 10月17日～23日夕日寺展示会へ作品交流（夕日寺交流館1階で開催）



新型コロナウイルス感染拡大を受け、夕日寺バザーが中止となった。代わりに夕日寺展示会が開催され、秋をテーマにした利用者5名の作品を展示いただき、作品交流の良い機会となりました。開催中にやちぐさより利用者を連れて夕日寺交流館へ行き地域の方の作品を間近に見て楽しみました。

- 11月13日 夕日寺朝市で販売協力（商品のみ出品）  
「金沢の焼菓子・ボン菓子等」を出品し盛況のため完売となる。
- 1月17日 南御所グループホーム  
金沢駅西消防署による消防検査が実施される  
口頭による指摘事項：特になし
- 2月8日 やちぐさグループホームおよび多機能型事業所やちぐさ  
金沢駅西消防署による消防検査が実施される  
口頭による指摘事項：特になし  
その他：多機能簡易居室の利用について、一時的な利用のため、消防法によるスプリンクラー・火災報知器の設置は不要である旨の説明を受けました。

・2月8日付 令和4年度

石川県障害者施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金申請

やちぐさ会では、石川県の省エネ補助金の活用を検討した結果、多機能型事業所やちぐさ（就労継続支援B型・生活介護）にそれぞれ太陽光発電システム（4.14kw）を設置する計画で補助金申請をおこないました。  
補助金交付申請にあたり、石川県の手続きに準じて3社見積をとり、業者を選定石友リフォームサービス株式会社に決定する。（交付決定後、契約予定）

菓子工房（就労継続支援B型）

③ 太陽光発電システム4.14kw・・・工事費1,100,000円

導入効果・・・自家消費で約16.7万円節約見込み

生活介護

④ 太陽光発電システム4.14kw・・・工事費1,100,000円

導入効果・・・自家消費で約16.7万円節約見込み

事業費総額 2,200,000円

交付申請額 994,000円

・2月17日付 令和4年度石川県障害者施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金の交付決定を受ける

・補助事業に要する経費 2,200,000円

・補助金の交付決定額 994,000円

※太陽光発電システム2台の設置工事にかかるやちぐさ会の自己負担額は、1,206,000円となりました。

・2月21日（火）16:00～17:15 所長室にて

令和4年度第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会が開催される

参加者：両委員会委員

（浅田所長・浅田次長・古川事務長・橋田生活介護主任・松村就労継続支援B型主任）

議題①

「障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化に向けた研修について」

## ○ご意見

- ・言葉使いについては認識が難しいと思った。
- ・このような研修はもっと頻繁にやってほしい。
- ・これまで虐待とは思っていなかったことも虐待となりうると知って驚いた。
- ・世話人の職場でのストレスが虐待に繋がることのあるのではないかと考えた。
- ・支援にいっしょうけんめいになりすぎると虐待になっていても気づかない。定期的にこのような研修を実施して行動を振り返ることが必要だと思う。
- ・ひとりだと袋小路に入っていることもある。このような研修の機会に皆で話合うことが重要だと思う。
- ・自分の担当の方には理想を追い求めてしまうところがある。他の人のアドバイスを受け入れ、引いた視点を持つことが必要だと思う。
- ・支援について、できなくても気長に対応する、ひとりで抱え込まない、皆で考える、障害を受け入れることが大事。ただし危険な時は言い聞かせる。こだわりを直そうと思わない。緩和すると考える。
- ・研修は半年に1回位、職員の負担にならないように、朝礼後等に行うのがよい。

## 議題②

### 「職員セルフチェックリストの集計結果報告」

## ○ご意見

チェック項目2番について、呼称（さん付け）について、出来ていない職員もいる。意識して直さないと変わっていかない。今後も少しずつ直して行く。

チェック項目11番について、同じことを繰り返して言う利用者に対応する場合、時間に余裕が無い時はぞんざいな態度になってしまう。他の職員にスイッチする等工夫が必要だと思う。

チェック項目13番について、職員の立ち位置が違っていると、支援に対する考え方も違ってくる。正解が無い問題でもある。都度話して調整する、他の人の意見に耳を傾けることが重要。

チェック項目14番について、話す機会が少ないとも思う。コロナ対応（アルコール消毒等）で時間を奪われていることも原因だと思う。

チェック項目18番について、職員同士で相談できるようにして行く。

チェック項目19番について、コロナでイベントも無くなり毎日の変化がない。職員が一丸となって取り組むイベントが無くなっていることも原因と思う。

チェック項目20番について、職員の高齢化も関係あるのではないかと、職員同士で気にかけて行く。

障害者虐待防止チェックリスト

(職員各自が記入し集計→委員会報告・対応の検討→従業員へ周知)

職員セルフチェックリスト

社会福祉法人やちぐさ会 職員によるセルフチェック 集計結果 (23名回答)

「チェック項目」	はい	いいえ	現状や今後の対応について
1. 利用者への対応、受答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	22	1	概ね出来ていた。
2. 利用者的人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	19	4	利用者の方への呼称については改善の余地があり、徐々に修正していく。
3. 利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	22	1	概ね出来ていた。
4. 職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取扱いに留意している。	23	0	問題なし
5. 利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入り等を行わないようにしている。	23	0	問題なし
6. 利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度をとらないようにしている。	22	1	概ね出来ていた。
7. 利用者を長時間待たせたりしないようにしている。	22	1	概ね出来ていた。
8. 利用者の嫌がることを強要すること、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	23	0	問題なし
9. 危険回避のための行動上の制限が予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得るとともに、方法を検討し実施にあたっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。	23	0	問題なし



＜チェック項目＞	はい	いいえ	現状や今後の対応について
10.利用者に対するサービス提供に関わる記録書類（ケース記録等）について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をまよまよせず行った場合等の状況も適切に記入している。	21	1 無回答1	概ね出来ていた。
11.ある特定の利用者に対して、ごんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	4	19	利用者に対して、失礼がないよう丁寧な対応ができるよう研修の機会を設けていく。
12.ある特定の職員に対して、ごんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	0	22 無回答1	概ね出来ていた。
13.他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。	4	19	支援についての共通認識を高めるための研修が必要ではないか。
14.上司と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	15	7 無回答1	お気軽に相談等ができるように改善していく。
15.職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	22	1	概ね出来ていた。
16.他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面にでくわしたことがある。	2	21	虐待への理解を深め、適切に対応ができるよう研修していく。
17.他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面を容認したこと（注意できなかったこと）がある。	1	22	見過ごす事がないよう、適切な対応がとられるよう研修していく。
18.最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みをもち続けている。	7	16	悩みを抱えたままにならないよう、職員間で相談し合い悩みの解消・軽減を図る。
19.最近、特に仕事にやる気を感じないことがある。	5	18	お悩み事やお困りごとがないか、職員全体で見守っていく。
20.最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。	5	18	健康診断の結果や体調面に不安がある方については医療機関への受診や治療をおすすめする。

### 議題③

#### 「次年度の取組み内容について」

##### ○ご意見

- ・外部研修は職員ローテーションして受けて行く。
- ・所内研修は半年に1回程度とする。
- ・体制整備チェックリストを完成させておく（所長）
- ・規定等の書類は全職員（パート等含む）に配布する。

・3月1日付 **いしかわ魅力ある福祉職場 認定更新証届く**

人材の育成および職場環境の改善に積極的に取り組む認定事業者  
に認定されました。

(認定の有効期限 令和8年2月28日) 3年間有効

**2. 【役員会等の開催状況】**

・令和4年5月28日 **理事会の開催**

第1号議案 令和3年度事業報告について

- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度行事報告
- ・令和3年度役員会議・研修等出席状況
- ・令和3年度職員研修・会議等出席状況

第2号議案 令和3年度決算報告について

- ・計算書類
- ・計算書類に対する注記
- ・附属明細書
- ・(社福)やちぐさ会 財産目録
- ・社会福祉充実残額算定シート
- ・監事監査報告書

第3号議案 特定相談支援・障害児相談支援事業所やちぐさ運営規程の一部改正に  
ついて

第4号議案 定時評議員会の開催日時、議題案について

・令和4年6月18日 **定時評議員会の開催**

第1号議案 令和3年度 計算書類及び財産目録の承認について

- ・計算書類
- ・計算書類に対する注記
- ・附属明細書
- ・(社福)やちぐさ会 財産目録
- ・社会福祉充実残額算定シート

・令和4年10月8日 **理事会の開催**

第1号議案 令和4年度補正予算について

- ・多機能型事業所やちぐさ
- ・神宮寺ホーム

第2号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

第3号議案 処遇改善手当等支給規程の一部改正について

## ・令和5年3月27日 理事会の開催

第1号議案 令和4年度収支補正予算について

第2号議案 令和5年度事業計画について

第3号議案 令和5年度収支予算について

## 3. 【各施設・事業所報告】

### ◎多機能型事業所やちぐさ

#### 1. 就労継続支援B型事業について

「就労継続支援B型事業」では、令和4年度も少しでも多くの工賃を支給できるようにそれぞれの利用者の作業に対する希望や工賃目標に応じた個別支援計画を策定し、それぞれの利用者が作業能力を発揮し、自分に「自信」が持てる、仕事をする喜びを「実感」することができる支援に努めてきました。

新型コロナの影響もあり、焼菓子、内職作業の一部で売上や純益が大きく落ち込みました。開所以来、安定した内職であったねじ締め作業では、年間の受注が4割に減少するなど利用者の作業量確保に大きく影響しました。そのため、代替作業の新規受注について積極的に活動をおこないました。

#### 各作業の収益について

各作業の収益について、菓子班では、純益が約34万円の減益、内職その他では、12.8万円の増益、食品加工班では前年比約2.5万円の減益、公園管理では、約3.3万円の減益となった。市役所実習については、約14万円の増益、パイプパーツでは約34.6万円の減益、ダンボールコンポスト受託では、約2.1万円の増益となりました。

各作業では、新型コロナの影響があり減益の部門が見られた。作業全体では収益が昨年に比べ約45万円少なく大きく落ち込みました。

新型コロナ禍の状況の中、内職作業（くずきり・野村製作所）の獲得や市役所実習を頑張った分が収益増につながりました。

#### 就労継続支援B型事業全体の平均工賃22,062円（12ヶ月換算）

就労継続支援B型事業全体の令和4年度平均工賃（12ヶ月換算）としては、22,062円を支給となりました。

令和5年度介護給付費等算定等に係る体制等に関する届出については、コロナ禍の為、福祉サービス等報酬を算定する特例の取り扱いがあり、令和元年度の平均工賃月額である25,110円の実績を用いて届出をおこないました。

#### 2. 生活介護事業について

「生活介護事業」では個別支援計画を作成し、それぞれの利用者の障害・病気に最大限配慮した支援のため、毎月一度看護師が生活介護の利用者全員と面談して健康管理をおこないました。健康管理では、利用者本人への問診や健康チェックを実施し、担当スタッフから1カ月の状況報告や医療的な相談をおこない、看護師の立場で健康面や衛生面についてアド

バイスももらっています。必要に応じて、やちぐさからご家庭の方に健康面のアドバイスをおこないました。

健康面のアドバイスは、ご家庭での健康管理意識の向上にもつながり保護者からも大変喜ばれています。

### **新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた利用者支援**

「あじさい」における日中活動中の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としては、①3つの密を避けること②マスクの着用・手洗いの徹底・アルコール消毒（手指・手すりやドアノブなどの共有物）の実施③利用者の健康状態の把握と変化の有無（出勤時・日中・帰宅前）④利用者の出勤前・作業中・帰宅前検温の記録及び職員の出勤前検温の実施と記録などをおこなってきました。

日中活動中にはコロナ禍の中いろいろと新型コロナ感染症防止対策を講じると共に利用者の安心・安全に配慮をしながら、利用者の皆さんには作業療法による軽作業・運動（体力作り）・創作活動・絵画教室などに楽しく参加をいただきました。

エアロビクスや音楽クラブについては密になることで感染対策が困難なため中止となりました。

### **余暇活動について**

運動面の取り組みでは、毎日午前と午後に時間を作り、エアロバイクを消毒するなど新型コロナウイルス感染対策をしっかりと講じた上で、エアロバイクで体を動かし筋力維持に努めてきました。

利用者の好きな動画を見ながら運動に取り組むことで、楽しく運動ができていたようです。運動時間のアップに効果が見られました。

押し花教室と絵画教室では月に1回、専門の先生が来所しそれぞれの利用者が楽しく充実した時間を過ごせるよう支援をおこなってきました。

### **作業療法の状況と生活介護事業全体の平均工賃（12カ月換算）**

作業療法として軽作業をおこなっております。職種としてはパイプのねじ締めやタオル折り・袋詰めなどをおこないました。軽作業での収益減の影響が大きく、生活介護事業全体の平均工賃（12カ月換算）としては、5,276円（前年比△742円）の支給となりました。

### **連絡帳の活用**

生活介護では、独自の連絡帳を作成し、健康状態や生活介護としての活動内容、服薬状況などをご家庭に連絡しています。連絡帳にはご家庭からの連絡事項なども記載いただくなど連携を深めて利用者の支援に活かすことができました。

### **利用者の在籍状況：令和5年3月末現在**

**（多機能型事業所やちぐさ 就労継続支援B型25名・生活介護16名 合計41名）**

- （1）入所者 0名
- （2）退所者 2名

(3) 在籍 41名 (男性20名 女性21名)

事業名	人数	男性	女性	手帳A	手帳B
就労継続支援B型	25人	13人	12人	9人	16人
生活介護	16人	7人	9人	13人	3人
合計	41人	20人	21人	22人	19人

### 3. 共同生活援助

神宮寺ホーム・やちぐさホーム・南御所ホーム

(法人でグループホーム3か所運営)

#### 利用者の入所状況

利用者の入所状況として、神宮寺ホームでは、女性4名、やちぐさホームでは男性3名・女性1名計4名、南御所ホームでは、男性3名・女性4名計7名、ホーム全体では、合計15名の利用者が入所されています。(令和5年3月31日現在)

ホームを利用する入居者にとって、「安心する・ホットする・楽しい生活の場」として、落ち着いて生活ができるよう、世話人を中心にサービス管理責任者、バックアップ施設職員からの協力を得ながら、入居する利用者に対しきめ細かな支援を行ってきました。

#### 個別支援計画

個別支援計画については、サービス管理責任者がそれぞれのホームの入居者・世話人と話し合いを行い、内容を確認し修正をした上で、本人と保護者に同意をいただき、計画に基づいたサービスの提供をおこなってきました。また、世話人との話し合いの場も設け要望にも応えながら、環境改善やサービス向上に努めてきました。

#### 利用者の入所状況 : 令和5年3月末現在

・神宮寺ホーム

入所者 4名 (男性0名 女性4名)

障害程度区分6 : 1名

障害程度区分5 : 2名

障害程度区分3 : 1名

・やちぐさホーム

入所者 4名 (男性3名 女性1名)

障害程度区分5 : 1名

障害程度区分4 : 2名

障害程度区分3 : 1名

・南御所ホーム

入所者 7名 (男性3名 女性4名)

障害程度区分6 : 1名

障害程度区分5 : 2名

障害程度区分4：4名

#### **4. 短期入所 やちぐさ短期入所事業所**

やちぐさ短期入所事業所（定員1名）は、南御所ホームに併設しています。

利用登録の状況として、外部の方5名・やちぐさ17名計23名が登録されています。昨年比1名増の登録となりました。

地域に住まわれる利用者・保護者のご期待にお応えできるよう職員一丸となって利用者支援にあたりました。

#### **5. 相談支援事業所やちぐさ**

基本相談支援では、障害者や障害児からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等のほか、必要な便宜を供与する支援を行ってきました。

#### **保護者の高齢化に向けた対応**

年々、保護者の高齢化が進む中、ご家庭での利用者支援が難しくなっている事例もあり、行政提出書類等の書き方のアドバイスや親から兄弟姉妹へ保護者の役割をお願いするなどの対応をおこなっています。

#### **個々のケースに応じた支援**

計画相談をおこなう中で、ご本人やご家庭の状況変化などで問題点が表面化することもありました。個々のケースに応じて必要な支援が受けられるよう、相談支援事業所やちぐさとしてでき得る限りの支援をおこないました。

計画相談支援では、障害者や障害児が障害福祉サービスを利用する際に、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援をしてきました。計画作成に当たっては、ご家庭の状況を確認すると支援者の高齢化によりご家族による支援が難しくなっている方が増えてきました。

利用者本人やそれぞれのご家庭状況および支援されるご家族の希望に応じて必要とするサービス（移動支援・日中一時支援・短期入所・居宅介護・放課後デイサービス・通院等介助・共同生活援助）がきちんと利用ができるよう支援をおこないました。必要に応じて、医療機関や行政との連携会議を開催することもありました。

#### **相談支援の担当状況**

令和4年度も相談支援専門員を常勤専従1名の体制で支援をおこなってきました。

相談支援事業所やちぐさでは、多機能型事業所やちぐさ34名、外部の方10名、障害児童の方10名合計54名のサービス等利用計画を作成し、モニタリングをおこなうなど支援をしてきました。昨年に比べ6名増となりました。

最近では、児童の相談を引き受けてくれるところがなかなか見つからない状況にあり、地域に住まわれる方で、児童の相談を引き受けて欲しいという声も多くなってきました。担当することになった方の親はとても安心されていました。

#### **緊急時の対応**

今後もご家族の入院等による緊急時の対応として、ショートステイの利用や欠員が生じ

ている法人運営のグループホームへの入所希望者についても入所ができるようご家族・世話人・多機能型事業所やちぐさなどと連携して支援をおこなってきました。

### **かなざわ安心プランの導入**

令和2年10月からサービス等利用計画・障害児支援利用計画の日々の暮らしを支える支援に加え、親亡き後や将来を見据えたMyライフプランや、災害時や緊急時等（地震や大雪などの広範囲で起こること、台風や水害のように限られた範囲で起こること、世界的な感染症の流行、身近な家族の急病等による不在など）を想定したクライシスプランも加えた、「かなざわ安心プラン」を導入しました。漠然としていたという方も多かった将来についてご家庭やご利用者本人が意識する良いきっかけとなりました。

#### **4.【事業種別利用状況】：令和4年4月～令和5年3月**

- ・多機能型事業所やちぐさ 全体 利用率 99.1%
  - 就労継続支援B型（現利用人員：25名／定員24名）  
延べ利用者数：実績6,301人／定員6,480人 利用率97.2%
  - 生活介護（現利用人員：16名／定員14名）  
延べ利用者数：実績3,860人／定員3,766人 利用率102.4%
- ・神宮寺ホーム（やちぐさホーム・神宮寺ホーム・南御所ホーム）  
共同生活援助（現利用人員：14名／定員16名）  
延べ利用者数：実績4,905人／定員5,840人 **全体利用率84%**
- ・短期入所やちぐさ（定員1名）  
延べ利用者数：実績98人／定員365人 **利用率26.8%**
- ・相談支援事業所やちぐさ  
計画相談148名 児童25名 延べ利用者数：173名 **昨年比18人増**